

学校再開後の学校運営上の留意点（緑川モデル）

宇土市立緑川小学校

☆常時

R3.2.22ver

- ・毎朝の検温を家庭にお願いし、ていねいな健康観察を行う。
- ・こまめな手洗いを徹底する。
- ・マスクを着用する。（激しい運動中等は除く）
- ・2方向の窓を開け、換気を行う。（空調で、ウイルス対応フィルターを使用している場合は、休み時間のみ換気を行う。）
- ・ソーシャルディスタンスを理解し、三密（密閉、密集、密接）が重なることは避ける。
- ・1日1回、共用物の消毒を行う。

●登下校

- ・安全第一とするが、できるだけ密接を避ける。
- ・一斉下校の際は、できるだけ距離をとって静かに集合し、速やかに下校する。
- ・息苦しく感じる際はマスクを外して構わないが、お互いの距離をとり、できるだけ話をせずに登校する。

●朝の活動

- ・朝のランニングは、自分のペースに合わせて走り、併走やおしゃべりをしない。
- ・朝のボランティアは、ソーシャルディスタンスを保って行う。
- ・読み聞かせは実施せず、朝読書とする。

●業間活動

- ・集会活動は、一斉で行う場合、体育館で行う。（発表集会含む。）
- ・音楽集会は、実施しない。
- ・全校集会、児童集会等は、適宜Zoomを活用する。
- ・なかよしタイムは、感染症対策を講じながら実施する。

●授業

- ・児童同士は、1.2メートル以上の距離を確保する。
- ・15人以上の学級にあつては、机の上にアクリル板を設置する。
- ・フェイスシールドを着用する際は、マスクの上に行く。
- ・発達段階に応じて、新型コロナウイルスに関する学習を行う。
- ・理科においては、可能な限り教室で実施し、近距離で話し合うことや実験器具等の貸し借りを避け、理科室で実施する際は、机の上にアクリル板を設置して学習する。
- ・音楽科において、歌唱指導等を行う場合は、マスク着用の上、対面を避け、

児童同士2メートル以上の距離を確保する。

- ・家庭科等の調理実習は、感染症対策を十分講じて行う。
- ・体育科においては、密集する運動や近距離で組み合ったり、直接接触したりする場面が多い運動はしない。物のやり取りがある運動の際は、必要に応じて手袋を着用する。原則、体育の授業中もマスクを着用する。水泳においても、着替えを含め、感染症対策を十分に行う。
- ・学校図書館の利用については、貸出時間等を学年毎にずらす。

●休み時間

- ・密集、密接を避ける過ごし方をする。

●給食

- ・机を向かい合わせにはしない。
- ・マスクなしでの会話はしない。
- ・給食は、廊下を一方通行にし、時間をずらして受け取りに行く。
- ・給食台は、消毒後キッチンタオルで拭き上げる等、台ふきを使用しない。

●歯磨き

- ・歯ブラシ、コップは、自分のロッカーに保管する。
- ・流しの使用は3カ所以内とし、3人以下で行う。
- ・少ない水で口をすすぎ、蛇口より低い位置から水を吐き出すよう徹底する。
- ・レバー式の蛇口は、できるだけ肘で開閉する。
- ・フッ化物洗口は、実施しない。

◎運動会、学習発表会、修学旅行、宿泊教室、見学旅行等の行事については、宇土市校長会の実施判断基準等に照らし合わせ、その都度、関係機関と協議の上、実施等を決定する。

※本モデルは、新型コロナウイルス感染状況等に応じて変更していくこととし、その際は全職員で変更点の確認を行う。